

鳴門市「道の駅 なんと（仮称）」基本計画 概要版

平成30年12月
鳴門市

1. 計画条件、コンセプト、基本目標等について

①計画条件
<p>立地・地域特性／考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四国のゲートウェイとしての優位な立地条件と高い認知度があり、渦潮を始めとする風光明媚な景観や多様な風土、第九、阿波踊り等の歴史・文化に恵まれている。(情報発信強化による集客) ○ 鳴門金時やレンコン、新鮮な魚介類、大谷焼等、全国区の特産品がある。(地域資源を活用した販路拡大、6次産業化、PRの推進) ○ 四国霊場八十八箇所の出発点として息づく「お接待」「おもてなしの文化」を駅の特徴にする。 ○ 人口減少が進行し、経済規模や雇用が縮小しているほか、周辺観光地との熾烈な競争に晒されている。(関連施設との連携、駅自体の目的地化) ○ 計画地付近は、通過交通・観光客・地域住民など多様な属性の人々が行き交う「人とモノ」の広域・地域間移動が交わる利便性の高い結節点 ○ 近隣の道の駅から一定の間隔があり、道の駅の整備に適した場所と考えられる。 ○ 周辺に多くの類似施設が立地し、訴求力のある施設・キラーコンテンツづくりを行う必要がある。 ○ 大津松茂農業協同組合が隣接地に産直施設を整備する予定であり、適切な役割分担のもと、両者の相乗効果による整備と運営が期待できる。 ○ 地球環境に優しく施設整備、防災機能拠点としての役割、「フェーズフリー」や「SDGs」の理念に基づいた整備と運営
<p>上位・関連計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第6次鳴門市総合計画では、道の駅の設置検討及び四国のゲートウェイ(関所化)の推進を明記 ○ 四国のゲートウェイ推進プロジェクトにおいて、本計画地を含む4ヶ所を予定地に選定 ○ 都市計画マスタープランにおいて、計画地は「新産・流通ゾーン」とされ、土地利用方針とも合致
<p>先行関連検討及び提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「四国のゲートウェイ拠点施設整備基本計画検討委員会」からの提言(H30.3)では、本計画地での整備、国との連携により道の駅を目指すこと、隣接する産施設との連携、コンセプト・ターゲットの明確化、話題づくりや同種施設との差別化、運営主体選定時の留意事項、導入すべき機能などについて示されている。

②コンセプト

人が集い 出会い 交流し 地域に広がる 笑顔と元気づまく 道の駅なると(仮称)

③基本目標・整備方針
<p>(1)人を呼び込む機能を備えた快適な道の駅</p> <p>四国・鳴門のゲートウェイにあたる道の駅として、誰もが快適に休憩でき、人を呼び込む機能を備えた施設づくりを行う。(道の駅としての基本機能の充実による立地特性の最大化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全で快適な駐車場・トイレ・休憩場所の提供 ○ わかりやすくアクセスしやすい道路交通情報の提供 ○ 四国・鳴門のゲートウェイとしての役割を踏まえた観光物産・イベント・移住・ふるさと納税等の地域情報発信 ※ 計画条件や道路利用者、観光客、地域住民等のニーズを踏まえた幅広い利用者獲得に資する導入施設設定
<p>(2)楽しい・面白い・便利 伝えたくなる道の駅</p> <p>人々が出会い、交流し、実際に「見て・知って・体験して・食べて・買う」こと等を通じた「楽しい・面白い・便利・誰かに伝えたい」と思わせる施設づくり。(コンテンツ充実による目的地化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「鳴門金時」を始めとする特産品や「渦」「コウノトリ」等の資源を活かした訴求力ある「食・加工品・土産」等の提供 ○ 特産品のショールーム・販売促進施設としての機能 ○ ここにしかないキラーコンテンツがあり、他施設との差別化を図り、「体験・宝探し・発見」の要素が詰まった展開 ○ 「お接待」や「おもてなし」の心を実感できる道の駅づくり
<p>(3)地域に愛され・地域と共に切磋琢磨する道の駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の生活支援、子どもや働き世代の憩いの場の提供など、市民のたまり場として地域にも愛される施設づくり ○ 隣接するJA産直施設との連携による相乗効果の最大化 ○ マルシェ等の機能を通じた6次産業化拠点としての役割 ○ 市民参加型イベントの実施、小中高校や大学生との連携
<p>(4)安心・安全で先進性が息づく道の駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 再生可能エネルギー、食の安全性、SDGs、防災拠点施設、フェーズフリー等の考え方を重視した整備・運用
<p>(5)持続的に発展し、安定した運営が行える道の駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンセプトを実現できる駅長選任、統一性ある事業展開 ○ 導入機能に応じた適切な施設・運営体制づくり
<p>これらの実現を通じて</p> <p>地域活性化(鳴門の笑顔と元気と誇り)の実現</p>

④想定される導入機能	
導入機能	導入予定施設
休憩機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場(24時間利用可能) ・ トイレ(24時間利用可能) ・ 屋内休憩スペース、チャイルドルーム ・ 屋外休憩スペース、屋根付休憩スペース
情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路情報施設 ・ 地域情報発信施設 ・ サイクリスト支援施設
地域連携機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食施設 産直レストラン 軽飲食施設(ファーストフード、カフェ等) ・ 物販施設 物産館(加工品・土産物販売) 食の生産販売施設(パン工房) ・ 交流体験学習施設 交流広場 (子どもの遊び場、マルシェ、イベント等) 体験交流研修室 (体験・市民活動、研修等) 屋内プレイルーム ・ 管理施設 管理事務所
防災・環境保全機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一次避難場所 ・ 非常用電源装置 ・ 耐震性貯水槽 ・ 災害時トイレ ・ 電気自動車(EV)充電施設
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活利便施設(ATM、郵便ポスト)

道の駅

隣接する
JA産直施設

道路利用者

平日・休日
を問わず

- ◇ 休憩・仮眠したい
- ◇ トイレに行きたい
- ◇ 道路交通情報を知りたい
- ◇ 手軽に軽飲食を取りたい

〔道路情報施設〕

- ・ 道路交通情報などを手軽に調べられる



〔駐車場・トイレ・休憩施設〕

- ・ 休憩、仮眠（高速道路に入る前や後、長距離運転時）
- ・ 居心地がよく、安全で快適に駐車できる



〔軽飲食施設〕

- ・ 高速道路に入る前の腹ごしらえ、おやつや飲料を調達できる
- ・ ここにしかないキラファストフードが食べられる



〔JA産直施設〕

鳴門金時やレンコン梨などの農産物、なしやダイコンをはじめ幅広い食料品が揃う



観光客

主に休日

- ◇ 鳴門の新鮮な美味しいものを食べたい
- ◇ 当駅限定の人気品をつまみたい
- ◇ 鳴門の特産品やお土産が欲しい
- ◇ 観光・イベント・飲食店情報が欲しい
- ◇ 珍しいものを見たい触れたい
- ◇ 面白いイベントに参加したい

〔道路・地域情報発信施設等〕

- ・ 道路交通情報を調べられる
- ・ 地域の情報を手軽に入手
- ・ サイクリストの立ち寄り場所

↓
周辺への人の流れを誘引



〔交流体験学習施設〕

- ・ 鳴門の食や特産品を身近に体験できる
- ・ 市民参加型イベントやマルシェの開催



〔産直レストラン〕

- ・ 鳴門の新鮮な産品をゆったり食べられる



- ・ 市民が観光客にお勧めできる



- ・ 滞在時にゆったり時間を過ごせる

- ・ 地域住民が日常的に立ち寄りたくなる逸品がある。



地域住民

平日・休日
(利用層毎)

- ◇ 仕事終わり(休日)の夕食・買い物場所
- ◇ 知人に特産品やお土産を送りたい
- ◇ 市民にも目新しいモノや情報がある
- ◇ 高齢者が憩い・活動し・買い物できる
- ◇ 遊び場がありパパママがほっとできる
- ◇ 面白い・お得なイベントに参加したい
- ◇ 市民や出入り事業者が学べる場

- ・ 高齢者が気軽に立ち寄り活動できて買物もできる
- ・ 子ども安心して遊べ、子育て世代が憩える場所がある
- ・ 様々な市民活動が展開され、域外からの来場者との交流により多様な賑わいがある



企画宣伝・イベント・食材供給・誘客等で連携

3.施設概要・施設規模について ※規模算定は前面道路の計画交通量、類似事例等を基に算定。**(基本設計時における検討等により変更する可能性があります。)**

(1)休憩機能

導入施設・機能	コンセプト	検討施設・機能イメージ	想定規模	
<p>駐車場</p>	<p>○すべての利用者にとって安全でわかりやすく駐車しやすい24時間利用できる快適な駐車場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小型車と大型車の駐車スペースを区分した、駐車可能スペースを認識しやすいレイアウト、極力交差しない車両動線 ・国道11号からの出入口を2ヶ所設けるとともに、隣接するJA大津松茂産直施設との車両通行や市道松村木津野線から同産直施設を経て来訪する利用者動線への配慮 ・休憩や情報発信機能の利用者のもとより、地域連携施設の入り込み客にも対応できる駐車規模の確保 ・建物（トイレ）に近い位置に屋根付きの身体障害者用駐車スペースを確保するとともに、車いすを伴わない障がい者や怪我人、高齢者や妊産婦など、移動に配慮が必要な方にも理由しやすい「思いやり駐車場」の導入 ・標準よりゆとりのある駐車ますや二重枠線などの採用 ・歩行者通路の安全確保、マーキングやカラー舗装による注意喚起、夜間照明や防犯カメラの設置など、安全対策・防犯対策の実施 ・近年の電気自動車の普及に鑑み、電気自動車（EV）充電施設を設置したブースの設置 ・自立しないスポーツ用自転車のスタンドの設置 ・居心地の良さに配慮した緑化や植栽 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>屋根付き身体障害者用 駐車ます 二重枠線駐車ます 電気自動車（EV）充電施設</p>	<p>乗用車:90台 大型車:16台 身障者等:3台 自動二輪:4台</p> <p>5,800㎡</p>
<p>トイレ</p>	<p>○女性や子ども連れ、身体障害者など、様々なニーズに配慮された明るく清潔なトイレ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間利用可能で利便性の高い、ユニバーサルデザインに配慮された誰もが使いやすい清潔なトイレの整備 ・屋内でのトイレ需要や利便性にも配慮した地域連携施設内へのトイレの配置 ・乳幼児連れのお客様への配慮として、ベビーカーと一緒に入ることのできるトイレやオムツ交換台、子ども用トイレの設置 ・高齢者や体の不自由な方をはじめ、LGBTなど様々な利用者を想定した、多目的トイレ（オストメイト対応）の設置 ・清潔なイメージとなるよう壁の色や照明の工夫 ・女性客に配慮したパウダーコーナーの設置 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>明るく清潔なトイレ 多機能トイレ パウダーコーナー</p>	<p>200㎡</p>
<p>休憩スペース</p>	<p>○室内と室外の両方の多様な休憩ニーズに対応し、リラックスできる居心地の良さを兼ね備えた十分な休憩スペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや情報発信機能を中心に利用する滞在時間の短い来訪者、飲食や物販施設等で比較的長時間滞在する来訪者、通過交通客、観光客、地域住民など、様々なニーズに対応できる休憩スペースの確保 ・屋内スペースには、乳幼児連れのお客様に配慮した授乳室やベビールームの設置 ・軽飲食施設に付帯するスペースや各施設の共有スペースに、机やベンチなど、ちょっと座れるたまり場・待ち合わせの場の設置 ・屋外スペースには、雨天時でも利用できる庇の下や屋外通路沿いなど、できるだけ多くの場所に机、椅子、パラソル、ベンチ等を設置 ・田園風景の穏やかな景観を活かした眺望の活用など、必要に応じて施設を2階構造、あるいは屋上を設けるなど、温かいおもてなしの場の提供 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>たまり場 (道の駅 中土佐) 屋外休憩スペース (道の駅 田園プラザ川場) 授乳室 (道の駅 禪の里)</p>	<p>120㎡</p>

(2)情報発信機能

導入施設・機能	コンセプト	検討施設・機能イメージ	想定規模
<p>情報発信施設</p>	<p>○「道の駅」の情報、鳴門市内外の観光情報、道路情報、災害情報を発信するインフォメーション</p>	<p>・徳島県及び四国の玄関口という立地条件や認知度を活かした、鳴門市・徳島県・四国の観光情報の発信</p> <p>・建屋内全体に無料Wi-Fiサービスの導入</p> <p>・大型映像モニターやタッチパネル式専用端末による情報発信、人工知能ロボットによる案内等、来訪者が楽しく情報収集できる仕組みの導入</p> <p>・観光客等の道路利用者の市内周遊を促すための、プロジェクションマッピング等の映像技術を用いた市内観光地情報や、四季に応じた各種イベント情報の提供</p> <p>・施設利用者のニーズに対応した、地域情報に精通した観光コンシェルジュの配置</p> <p>・「道の駅」の情報やリアルタイムの道路情報、災害情報、地域の観光情報を入手することができるポータルサイトやアプリの導入、SNSによる情報発信</p> <p>・空きスペースを活用した、コウノトリ情報や鳴門市の文化、地域情報の展示</p> <p>・ICT等を活用した四国八十八箇所に関する情報の提供</p> <p>・就労情報や移住定住情報などの提供、ふるさと納税窓口の設置</p> <div data-bbox="1446 385 2386 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔活用・整備のイメージ〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>大型モニター (道の駅 天空の郷さんさん)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人工知能ロボット Pepper (道の駅 あぐり窪川)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プロジェクションマッピング (白山平泉寺観光案内)</p> </div> </div> </div>	<p>50㎡</p>
<p>サイクリスト支援施設</p>	<p>○人とのふれあい、地域とのふれあいを高めるサイクリングツーリズム関連施設</p>	<p>・「道の駅」と周辺施設との連携により回遊性を高め、より多くの人々に親しみ続けていただくためのレンタサイクルの提供</p> <p>・空気入れ・工具セット等の物品を常時配備し、給水などのサービスによりサイクリストを温かくもてなす「おもてなしスポット」への指定</p> <div data-bbox="1459 975 2373 1366" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔活用・整備のイメージ〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>レンタサイクル (今治市サイクリングターミナルサンライズ糸山)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おもてなしスポット (なると物産館)</p> </div> </div> </div>	<p>50㎡</p>

(3) 地域連携機能

導入施設・機能	コンセプト	検討施設・機能イメージ	想定規模	
産直レストラン	<p>○「鳴門らしさ」を表現する様々な地場産品を使用した産直レストラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴門市の豊富な自然環境により育まれた農産物・海産物を味わえるレストラン整備 ・子ども連れでもゆっくりと食事が楽しめる空間づくり ・JA大津松茂産直施設や物販施設と連携した、ここでしか味わえない料理の提供 ・市外からの来訪者だけでなく、交流の場として市民も気軽に利用したくなる店舗整備 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>地元野菜を使用したバイキング 地元の海の幸を使用した海鮮丼 食事が楽しめる快適な空間 <small>(道の駅 天空の郷さんさん) (道の駅 あわじ) (道の駅 京丹波 味夢の里)</small></p>	300㎡
軽飲食施設	<p>○特色ある軽飲食提供コーナーと「たまり場」となるカフェ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産直レストラン利用以外の方への飲食提供コーナーとして、ピザやハンバーガー等のファーストフード、鳴門市の名物である鳴ちゆるうどんや竹ちくわ、地元食材を使用したソフトクリームなど、特色あるメニューの提供 ・地域住民の憩いの場や地元の食材を使用したスイーツの提供を行うカフェの整備（子育て世代の本駅来訪を促すことなどを目的とし、雨天時でも小さな子どもを遊ばせることができる屋内プレイルームの近くに整備） ・気軽に利用ができるよう持ち帰り可能なテイクアウト形式の導入 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>オニオンピーフバーガー 軽飲食提供コーナー カフェ <small>(道の駅 うずしお) (道の駅 中土佐) (道の駅 とおわ)</small></p>	150㎡
物産館	<p>○鳴門市、徳島県及び四国の玄関口ならではの品揃えをした物販施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県及び四国の玄関口という立地条件や認知度を活かした、鳴門市・徳島県・四国の名産品の提供 ・本「道の駅」と隣接するJA大津松茂の産直施設と重複しない品揃え ・鳴門市の農産物を活用した飲食店の起業や六次産業化による新商品の開発等を考えている地元住民や地元企業が、本「道の駅」での店頭販売を実施できる、チャレンジショップエリアの設置 ・子育て世代が時間に余裕を持って買い物をしたり、滞在時間の長大化による消費額の増加を図るため、物産館の付帯するスペースなどに、机やベンチなどの休憩スペース、屋内プレイルームの配置 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>ディスプレイやデザインにこだわった物産館 六次産業化商品のチャレンジショップ <small>(道の駅 よって西土佐) (愛媛県松山市銀天街)</small></p>	300㎡

導入施設・機能	コンセプト	検討施設・機能イメージ	想定規模
食の生産販売施設（パン工房）	<p>○誘客の一つの目玉となる食の生産販売施設としてのパン工房</p>	<p>・生産者の顔が見えることによる「安心感」や「親近感」により、消費者の購買意欲の拡大を図る、食の生産販売施設としてのパン工房の設置</p> <div data-bbox="1427 229 2330 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔活用・整備のイメージ〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>誘客の目玉になっているパン工房 (道の駅 天空の郷さんさん)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>からりブレッドは売切必至 (道の駅 内子フレッシュパークからり)</p> </div> </div> </div>	100㎡
交流広場	<p>○多様なイベントや交流、子どもの遊び場など、多用途に活用可能な交流広場</p>	<p>・芝生広場などの緑地を整備し、マルシェ、フリーマーケット、阿波踊りなどの各種催し物の実施が可能となる多目的広場の設置</p> <p>・子ども達が屋外で自由に遊べる空間を確保するため、子ども向けの遊具・設備の設置</p> <p>・市民が主催・参加するイベントの開催や市民団体・サークル・学生の活動の発表の場</p> <div data-bbox="1427 774 2330 1104" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔活用・整備のイメージ〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>芝生広場 (ウチノ海総合公園)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子どもが遊べる遊具 (道の駅 源平の里むれ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>なるちゃんワールド (ボートレース鳴門)</p> </div> </div> </div>	500㎡
体験交流 研修室	<p>○鳴門市の様々な良さを体験でき、市民活動や6次産業化の取り組みなどにも活用可能な汎用性の高い屋内施設</p>	<p>・地元の農産物を使った料理教室や「なるちゆるうどん作り」等の郷土料理の実体験や本駅のオリジナルの検討・開発など、鳴門市の良さを地域内外にPRでき、6次産業化の推進にも寄与するキッチンスペース機能の整備</p> <p>・子育て世代や高齢者等の生きがいと交流、地域コミュニティの場として、各種行事やイベント等、市民が気軽に利用できる施設整備</p> <p>・地域活動をはじめ、会議室、学生によるサークル活動発表の場、企業研修、生涯学習、鳴門教育大学の留学生による外国語講座など、多様なコミュニティの集まりに対応できる施設整備</p> <p>・大型のモニターを設置し、会議室の利用時はもちろん、部屋が使用されないときでも、鳴門市のプロモーション映像や地域情報が映像で流れるなどの情報発信機能の整備</p> <p>・利用効率を高める可動式パーティションの導入</p> <p>・食料やトイレ用品など、災害時用備蓄物資を保管できるスペースの設置</p> <div data-bbox="1427 1310 2330 1628" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔活用・整備のイメージ〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>多目的室 (道の駅 よって西土佐)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キッチンスペース (道の駅 しもつけ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>うどん打ち体験 (道の駅 滝宮)</p> </div> </div> </div>	250㎡

導入施設・機能	コンセプト	検討施設・機能イメージ	想定規模
屋内 プレイルーム	○子育て支援と市民交流の場となる屋内プレイルーム	<p>・子育て支援や利用者の交流の場として、大型のおもちゃ等で各年齢層の子どもがのびのびと遊べる屋内プレイルームの整備（買い物途中の来訪者の憩いの場や、子育て世代にとって本道駅への来訪が目的地化となるよう、カフェや物産館の近くに整備）</p> <div data-bbox="1419 324 2314 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>ボルダリング (道の駅 中土佐) もくもく広場 (イオンモール徳島) Kid's US.LAND (イオンタウン上板店)</p> </div>	100㎡
管理事務所	○「道の駅」の業務を行うための機能的で使いやすい事務所	<p>・「道の駅」を管理・運営するための事務所の整備 ・従業員の福利厚生を主旨とした更衣室や休憩スペース、販売商品や備品等を保管する倉庫の整備 ・従業員用の駐車場、付属施設及び設備関係の設置スペース、出荷者車両の荷捌きや荷物・材料などの搬出入に用いる空間としてのバックヤードの整備 ・鳴門市の良さを認識してもらうための、学生の職場体験の場</p> <div data-bbox="1430 812 1878 1191" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>事務所 (道の駅 水の郷さわら)</p> </div>	80㎡

(4)防災・環境保全機能

導入施設・機能	コンセプト	検討施設・機能イメージ	想定規模
防災・環境保全機能	<p>○災害時の防災拠点施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次避難場所 本「道の駅」の立地場所は、徳島県津波浸水想定によると津波浸水深が約2m～3mと想定されているため、浸水深を考慮して津波避難に係る避難場所に指定 ・災害時用トイレベンチ 平常時はベンチ、災害時はトイレとして使用できる災害時用トイレベンチを整備 ・耐震性貯水槽 災害時においても水の供給が可能となる貯水槽の整備 ・非常用電源装置 商用電力供給が断絶しても、被災期間中の電力供給を行える非常用電源装置の整備 ・LED照明灯（ソーラー式） 災害時の避難の導線を考慮した照明灯の整備 ・備蓄スペース 最低限の食料やトイレ用品を備蓄できるスペースを体験交流研修室に確保 ・電気自動車（EV）充電施設 近年の電気自動車の普及や、防災活動用車両への充電を行うための整備 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>災害時用トイレベンチ (静岡県浜松城公園)</p> <p>耐震性貯水槽と非常用電源装置 (道の駅 天空の郷さんさん)</p>	100㎡

(5)その他

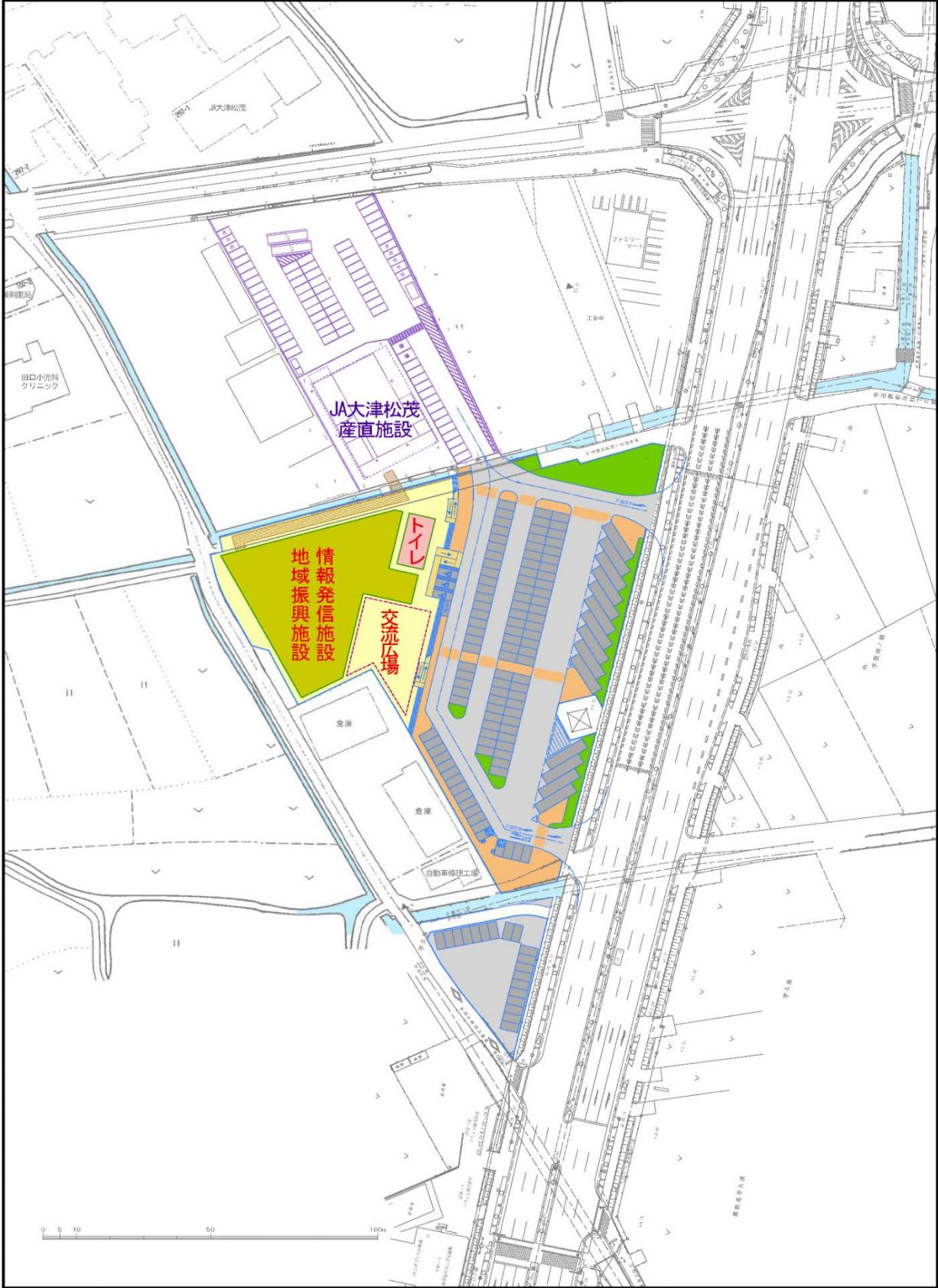
導入施設・機能	コンセプト	検討施設・機能イメージ	想定規模
その他	<p>○日常生活の利便性を高める施設などの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ATM、郵便ポストなど、日常生活の利便性を高める施設の設置 ・地域色を感じさせる看板やモニュメントの設置 ・地域交通の結節点の1つとしてのアクセスも視野に入れた施設整備 ・起業地が拡大した場合のコンビニエンスストアやガソリンスタンドの整備 	<p>〔活用・整備のイメージ〕</p>  <p>ATM や郵便ポストのある道の駅 (道の駅 あぐり窪川)</p> <p>バス停イメージ</p>	—

○機能毎の施設規模合計について

- ①休憩機能
320㎡ + 駐車場113台(5,800㎡)
 - ②情報発信機能
100㎡
 - ③地域連携機能(共用スペース含む、交流広場除く)
1,580㎡
 - ④防災・環境保全機能
100㎡
 - ⑤オープンスペース(交流広場・歩道など)
2,930㎡
 - ⑥合計(①～⑤の合計)
10,830㎡
- ※一次避難場所及び備蓄スペースの場所については、体験交流研修室などを想定しているため、その他の防災・環境保全機能について施設規模を記載しています。
- ※建築面積合計について
休憩機能320㎡+情報発信機能100㎡+地域連携機能1,280㎡+防災・環境保全機能100㎡+施設供用部分300㎡=2,100㎡

4.施設配置計画

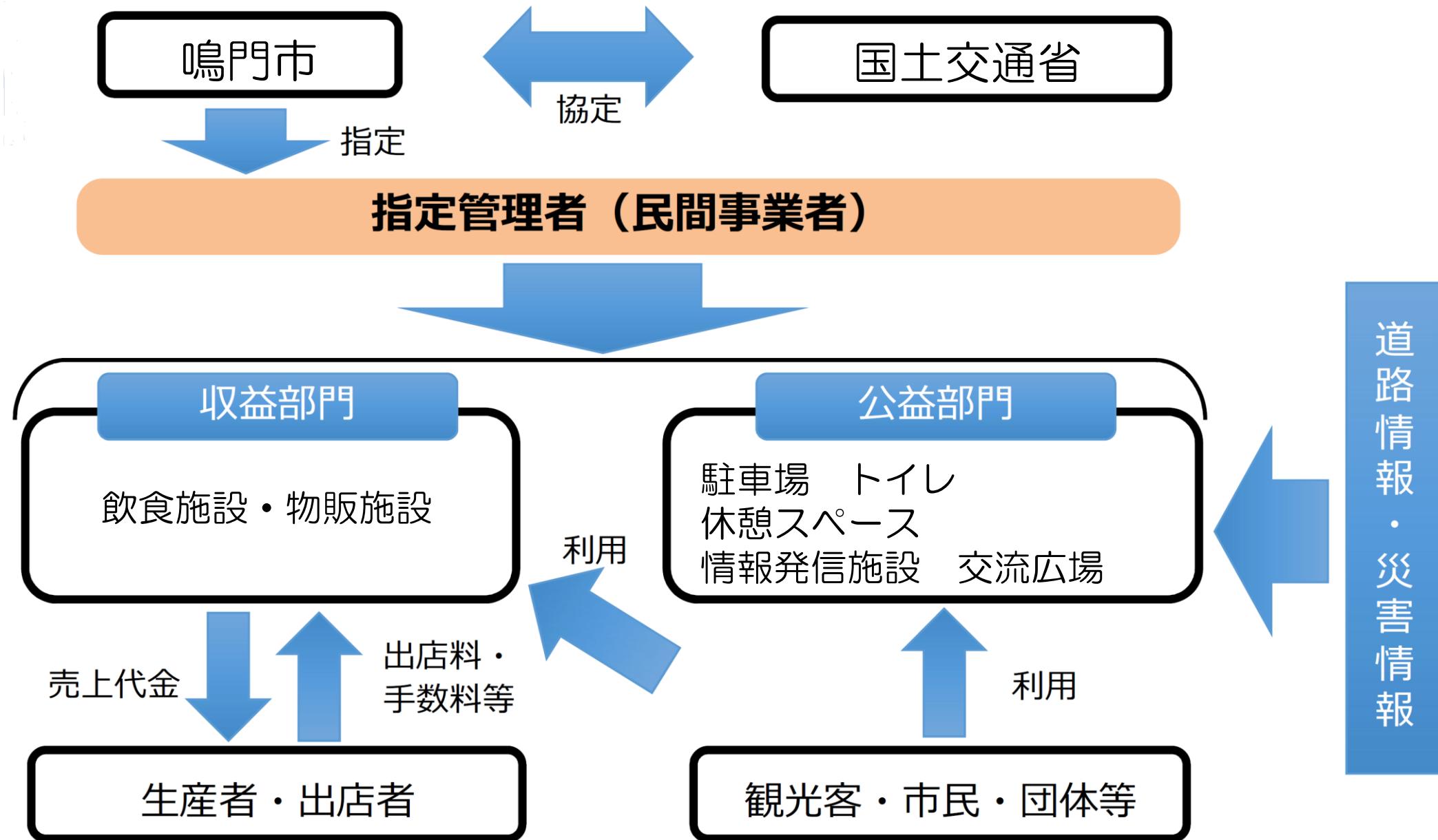
現在想定しているエリアに対して、施設配置の平面図を示します。なお、今後もアクセス性向上や渋滞対策、施設の拡張性の確保等の観点から引き続き検討を行うものとし、関係機関との協議や基本設計の平面計画及び施設内容の精査を踏まえ、最終決定します。



5.整備・管理運営手法

<管理運営の仕組み>

「道の駅」は、公益性と収益性を併せ持つ施設であり、その施設の運営にあたっては民間ノウハウを最大限に活用し、収益性やサービス提供の質の確保を図っていくことが求められる。ついでに、公設民営を前提に指定管理者制度による管理運営を検討する。



6.今後のスケジュール

平成33年度の開駅を目指し、今後のスケジュール（予定）は次のとおりです。

